

SAMPLE 奨学金の理解

一般社団法人 NTSセーフティ家計総合研究所
カウンセリングセンター長 有田 宏美

於：2022.10.28 やまて企業組合



名前 ゆきち
当研究所のマスコットキャラクター

独立行政法人日本学生支援機構の奨学金について

- 独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)は、最もよく利用されている奨学金で、わが国の奨学金貸付けの約90%を占めています。
- 令和2年度に奨学金の貸与を受けた学生は約120万人で、わが国の高等教育機関に通う学生の34.1%(2.9人に1人)に相当します。
- JASSOによると、貸与型奨学金の一年当たりの貸与総額の平均は、第一種奨学金で241万円、第二種奨学金で340万円と報告されています。毎月返還額の平均は1万5千円程です。
- 奨学金のしくみは複雑で、大人でも一度聞いてみただけで理解できるものではありません。ましてや、社会経験のない高校生や大学生に簡単に理解できるものではありません。

難しいことを易しく、易しいことを深く伝えることができるよう
学びの時間を共有しましょう。

<参考> 高等教育機関に入学年度に納めるお金

▼ 以下はそれぞれの大学・短大・専門学校[※]の授業料(施設設備費等を含む)と入学金(初年度)の目安です。

国立大学			
	入学金	授業料	合計
文系	282,000円	530,800円	812,800円
理系			

※国立大学の入学金・授業料は、「文部科学省「国立大学等私立大学の授業料等の推移」を参考に作成。

私立大学			
	入学金	授業料・施設設備費	合計
文系	225,651円	963,341円	1,188,992円
理系	251,029円	1,315,233円	1,566,262円

※文部科学省「令和3年度私立大学に係る初年度納付金平均額(定員1人当たり)」の調査結果について」を参考に作成。

短期大学		
入学金	授業料・施設設備費等	合計
237,615円	889,971円	1,127,586円

※文部科学省「私立大学等の令和3年度入学者に係る学生給付金等調査結果について」を参考に作成。
 ※学校によって授業料、入学金に差異があるので、各自で進学先のホームページなどで確認してください。

専門学校		
入学金	授業料・施設設備費等	合計
179,000円	892,000円	1,071,000円

※記載の金額は、東京都専門学校各種学校協会の「令和2年度学生・生徒納付金調査」を参考に作成。
 ※学校によって授業料、入学金に差異があるので、各自で進学予定先のホームページなどで確認してください。

JASSOの奨学金の概要 - 貸与型奨学金 -

- 貸与型奨学金の種類 第一種、第二種、入学時特別増額 ※すべて「進学後」に貸与されます。

■ 貸与額と採用基準

貸与型の種類	利用できる金額と収入・所得の上限額の目安	採用基準
貸与型第一種	月額 2～4万円※ (給与所得者4人世帯で70万円、給与所得者以外で349万円) 学長の推薦が必要	■ 高等学校または専修学校高等課程の1年から申込時までの成績の平均値が5段階評価で3.5以上
貸与型第二種	月額 2～12万円(1万円刻み) (給与所得者4人世帯で1,100万円、給与所得者以外で692万円)	■ 高等学校又は専修学校(高等課程)における学業成績が平均水準以上と認められる者
入学時特別増額	5種類から選択 10万円、20万円、30万円、40万円、50万円	■ 第一種奨学金または第二種奨学金に加えて、一筆金として増額貸与される利子付の奨学金です。 ■ 「政策金融公庫」の「教育ローン」を利用できる。かつ世帯の学生・生徒を対象とする制度です。

※ 第一種奨学金は、自宅・自宅外／国公立・私立によって金額が異なります。

- 保証制度
 - ・ 機関保証 保証会社(毎月の奨学金貸与額から保証料が差し引かれて振り込まれます)
(貸与型) → 月額 10万円貸与で保証料が5,000円程度差し引かれます。
 - ・ 人的保証 連帯保証人: 父母、保証人: 4親等以内の親族で連帯保証人と別生計の人
- 利率
 - ・ 利率固定 年利 0.605%(最近の例)、最大でも3%
 - ・ 利率見直し 年利 0.077% ※年利は進学した学校を卒業時にJASSOから発表されます。
- 信用情報 返還開始から6か月経過後に延滞が3か月以上となった場合、個人信用情報機関への登録対象となります。

JASSOの奨学金 貸与型シミュレーション

- 貸与型の奨学金を利用するときは、将来(卒業・中退)必ずやってくる返還のことを考えたうえで、金額を決めなければなりません。返還義務者(契約者)は、学生本人です。
- 下は第一種奨学金(有利子)で金額変更なしで、4年間借りた場合の返還シミュレーション(あくまでも目安)です。
- 利息は、最大で3%とありますが、最近の利率固定方式では0,605%です。

月額貸与額	貸与総額	毎月返還金額	返還年数	返還回数
20,000円	960,000円	8,037円	10年	120回
40,000円	1,920,000円	16,074円	13年	156回
60,000円	2,880,000円	15,785円	16年	192回
80,000円	3,840,000円	17,038円	20年	240回
100,000円	4,800,000円	21,298円	20年	240回
120,000円	5,760,000円	25,558円	20年	240回

※実際は10,000円刻みです。

※JASSOの奨学金貸与・返還シミュレーションから当法人が作成

- * 私立大学医・歯学課程の場合、最大月額貸与額120,000円に40,000円の増額が可能です。
- * 薬・獣医学課程の場合、同120,000円に20,000円の増額が可能です。

JASSOの奨学金の概要 - 給付型 -

2020年から、「給付型奨学金」と「授業料減免」がセットになりました。

- 新制度は、住民税非課税世帯だけでなく、住民税非課税世帯およびそれに準ずる世帯の学生が対象になりました。
- 給付型奨学金の種類 **※すべて「進学後」に給付されます。**



以下の条件により支給額が異なります。

- ✓ 世帯収入
- ✓ 進学先の学校の種類(国公立・私立)
(大学/短期大学/高等専門学校/専門学校)
- ✓ 自宅から通学 or 一人暮らし

JASSOの奨学金の概要 ① 給付型について

【成績基準】

1. 高等学校等における全履修科目の評定平均値が、5段階評価で3.5以上であること。
2. 将来、社会で自立し、及び活躍する目標をもって、進学しようとする大学等における学修意欲を有すること。

※学業不振の場合は、打ち切り(返還)もあります。

【家計基準と支援基準】

区分	収入	支援基準
第Ⅰ区分	住民税非課税世帯(年収約100万円未満)	上限額を支援
第Ⅱ区分	年収約300万円未満	上限額の3分の2を支援
第Ⅲ区分	年収約380万円未満	上限額の1分の1を支援



※給付型奨学金は、自宅・自宅外/国公立・私立によって金額が異なります。

※採用基準については、JASSOホームページの「進学資金シミュレーター」(右斜め上QRコード)で確認してください。

【資産基準】

1. 申込み(生徒)・生計維持者(父母)の資産の合計が一定額未満
2. 生計維持者が一人の場合:1250万円、生計維持者が2人の場合:2,000万円



※給付型奨学金は全ての大学が対象ではありません。

早めに、文部科学省の「支援の対象となる大学・短大・高専・専門学校一覧」で確認しましょう。



JASSOの奨学金の概要 ② 給付型について

【入学金・授業料の支援額】

区分	国公立		私立	
	入学金	授業料	入学金	授業料
大学	約28万円	約54万円	約26万円	約70万円
短期大学	約1万円	約39万円	約25万円	約62万円
高等専門学校	約1万円	約23万円	約13万円	約70万円
専門学校	約1万円	約1万円	約16万円	約59万円

※住民税非課税世帯に準ずる世帯の学生は、住民税非課税世帯の学生の1/3又は1/3の支援額となります。

※「入学金」の免除・減免を受けられるのは、入学後3か月以内に入学金を納付した対象となった学生です。

【給付型奨学金の支援金額】

区分	国公立		私立	
	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
第Ⅰ区分	29,200円 ※2(33,000円)	66,700円	38,300円 (42,500円)	75,800円
第Ⅱ区分	19,500円 (22,200円)	44,500円	25,600円 (28,400円)	50,600円
第Ⅲ区分	9,800円 (11,100円)	22,300円	12,800円 (14,200円)	25,300円

【第Ⅰ区分の場合】

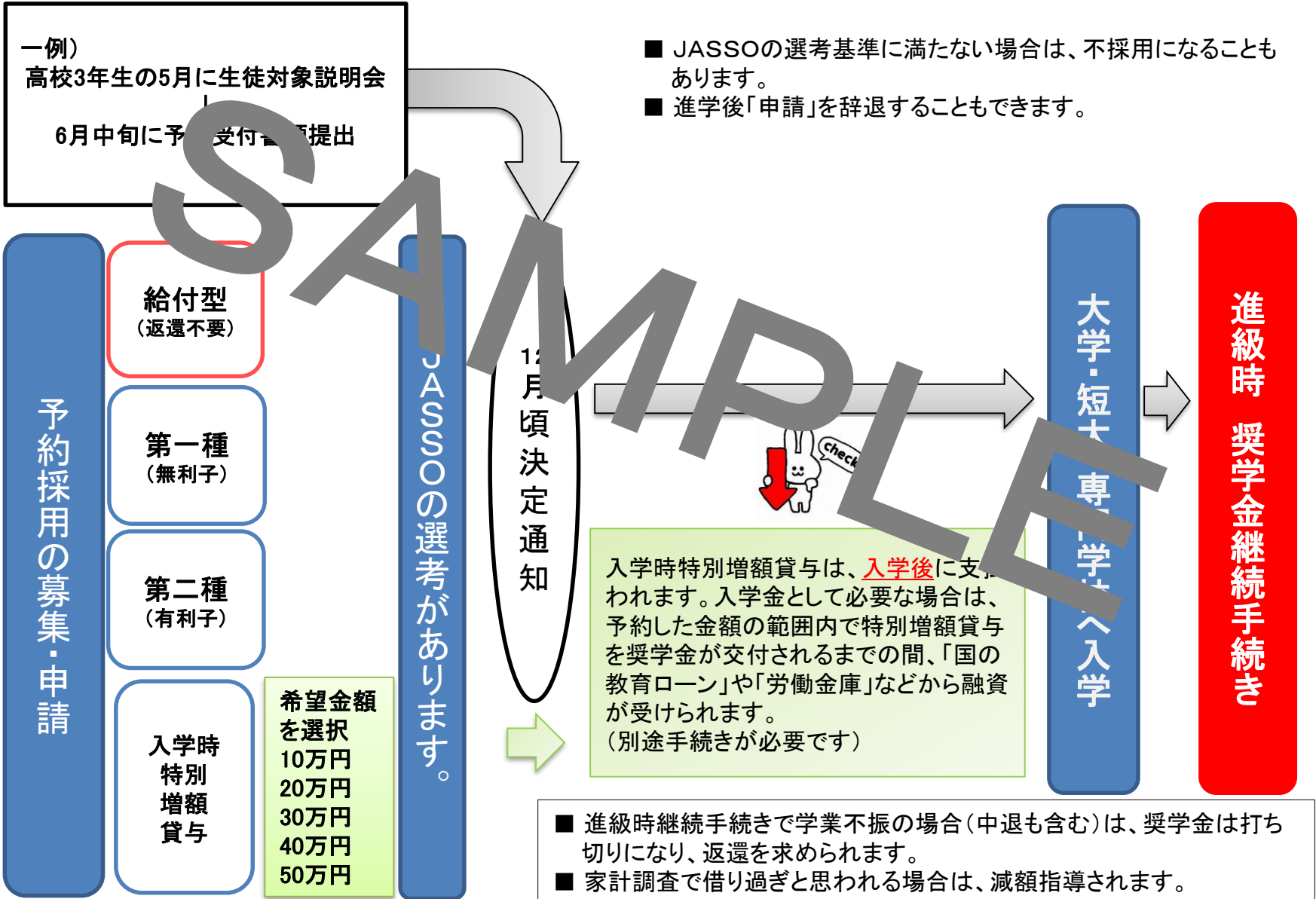
私立大学に自宅外から通学した場合、初年度は、最大約187万円を受け取ることができます。



※世帯の所得金額に基づく区分、進学形態により表の金額が、毎月1回振り込まれます。

※2 生活保護世帯で自宅から通学する人及び児童養護施設等から通学する人は下段()内の金額となります。

JASSOの申し込みスケジュール(予約採用)



JASSO以外の教育ローン

- JASSOの奨学金は、「支給開始」が進学後です。
合格発表後すぐに必要となる「入学手続き費用」を、奨学金以外で用意しなければなりません。

日本政策金融公庫 「国の教育ローン」	民間金融機関 「教育ローン」	労働金庫 「入学時必要資金融資」
<ul style="list-style-type: none"> ・対象者: 世帯年収上限あり(約100万円) (子どもの数3人以上の場合) ・契約者: 保護者。 融資限度額: 子ども1人につき 350万円 以内。一定の要件を満たすと450万円。 ・金利: 年1.80%程度 固定金利 (申込時の金利は金融情勢により変動 有)。 ・返済期間: 最長18年間。 ・返済開始: 借りた翌月または翌々月の返 済希望日(元本据え置き可)。 ・使い道: 学校納付金、受験費用、住居に かかる費用、通学費用、パソコン代、教 科書代等。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者: 世帯年収制限なし。 (安定した収入が必要)。 ・契約者: 保護者。 ・借入可能額: 約100万円以内 ・金利: 0.9%~10%程度(調査時) 変動・一部固定金利 ・返済期間: 約17年。 ・返済開始: 在学中は利息のみ。 卒業後元利均等返済。 ・使い道: 学校納付金、受験費用、住居 にかかる費用、通学費用、教科書代金 等、海外留学費用など。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者: ・JASSOの奨学金対象校に合格 し進学する方。 ・「国の教育ローン」が不採用と なった家庭。など ・契約者: 学生本人。 ・貸与額: 増額奨学金の範囲の金額。 (最大100万円) ・金利: 年1.80%程度(調査時)。 ・使い道: 学校納付金。 ・返済開始: 入学後にJASSOの入学時特 別増額貸与奨学金により一括で返済。

※その他、進学先独自の奨学金や、民間団体の奨学金、地方自治体の奨学金等があります。
※詳細は、国の教育ローンは「近くの金融機関」に各自で問い合わせを。機関に問い合わせる。

JASSOの奨学金と教育ローンの違いと注意点

【奨学金と教育ローンの違い】

- 国の教育ローンと民間の教育ローンの契約者が「保護者」であるのに対して、JASSOの奨学金と、労働金庫「入学時必要資金融資」の契約者は、「学生本人」です。

【奨学金の注意点】

給付型以外のJASSOの奨学金は、
子どもの未来の「借金」になります!!

○ 奨学金のメリット

- 家庭の経済環境に関わらず、進学の手続きが得られる。
- 毎月、確実に貸与金額が振り込まれるので、安心して学べる。
- 職業の選択肢が増える。

慎重な検討を

× 奨学金のデメリット

- 学生本人が借金を背負うことになる。
- 短い人で10年、長い人だと20年間、経済的負担が続く。
- 万一返還ができなくなった場合、学生本人の信用情報に影響する。

貸与型奨学金を利用する場合は、在学中から可能な限り少ない金額にしておくことが、将来過剰な返還のリスクを回避するためにできることです。

おわりに

返還に困った時の「返還困難者向け救済制度」

・返還期限猶予制度

災害、傷病、経済困難、失業などの返還困難な事情が生じた場合は、返還期限の猶予を願い出すことができます。審査により承認された場合、その期間については返還の必要はありません。最長で1年、返還を猶予できる制度です。

・減額返還制度

毎月の返還額を減額して返還することが可能な制度です。

災害、傷病、その他経済的理由により奨学金の返還が困難となった場合、当初約束した割賦金を減額すれば返還可能となる人が対象です。

1回の願出につき適用期間は12か月で最長15年（180か月）まで延長可能です。



- ① どちらも返還総額が減額されるわけではないので、完済までの年数が増えます。毎月申請必須。
- ② 減額返還制度の場合、願出及び審査の時点で延滞していないこと。

一般社団法人 NTSセーフティ家計総合研究所

TEL : 03-6459-4770 Mail : nts_kskn@nts-hd.co.jp

寄付のお願い



生活困窮者自立支援に向けた活動にお力をお貸しください

【お知らせ】

私どもの活動にご賛同いただける方からのご寄付を受付けております。

詳しくはホームページをご覧ください

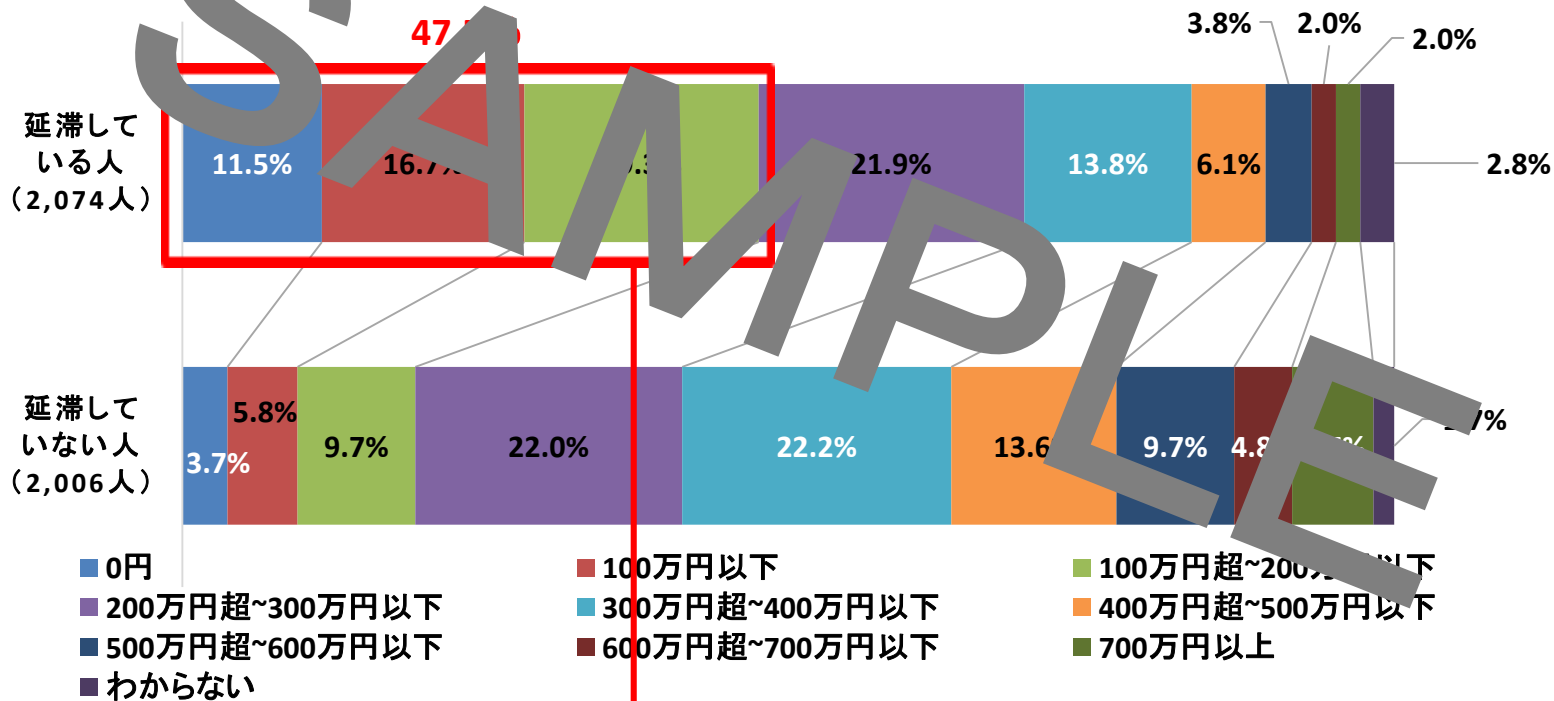


SAMPLE

JASSOの調査から見える奨学金の現状

P13～15のグラフは、JASSO「令和2年度奨学金の返還者に関する属性調査」より当法人が作成しました。

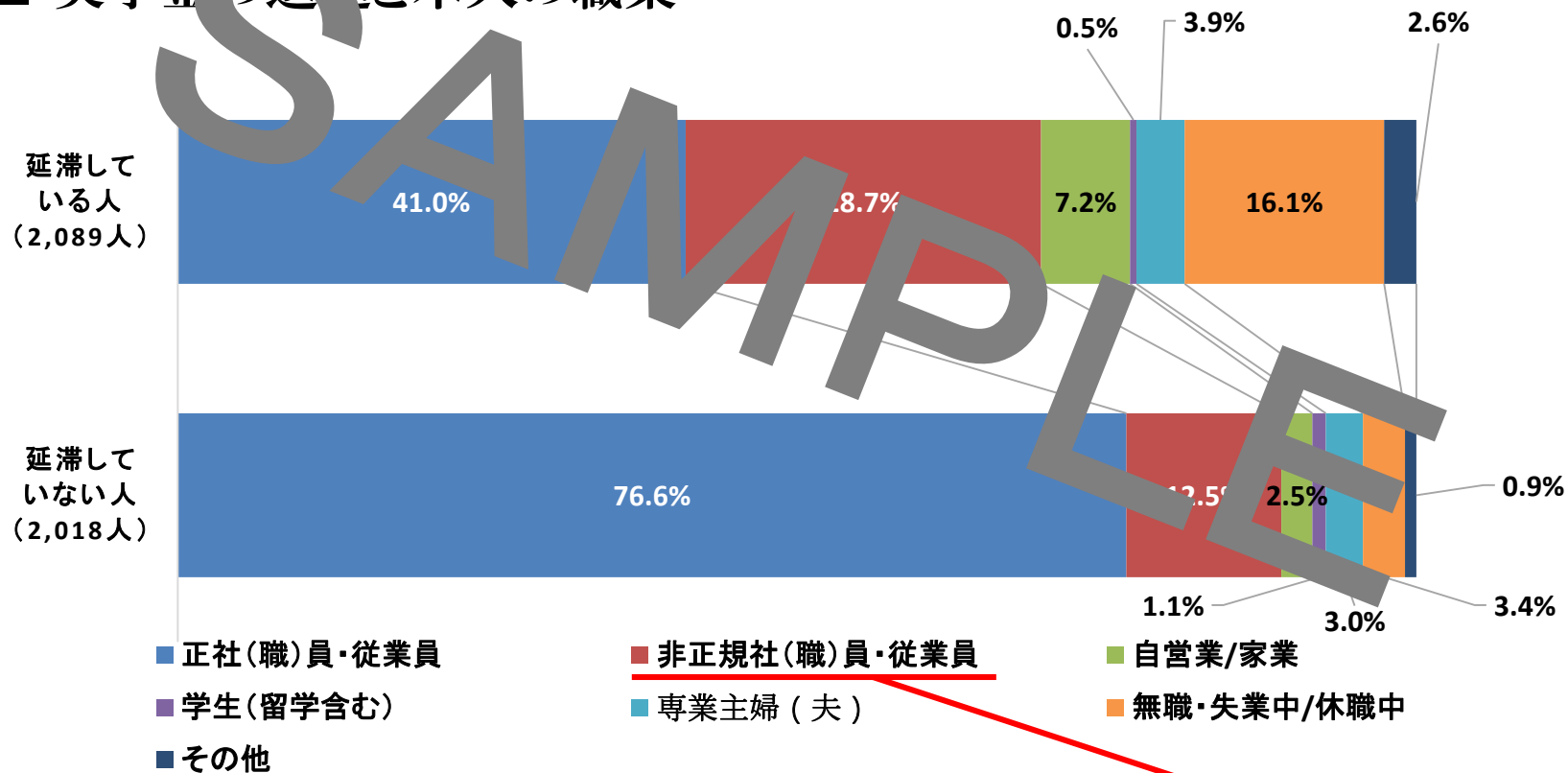
■ 奨学金返還者 本人の年収



■ 奨学金返還者の年収格差

⇒ 延滞している人のうち、**47.5%**(延滞していない人は19.2%)が、**年収200万円以下**。

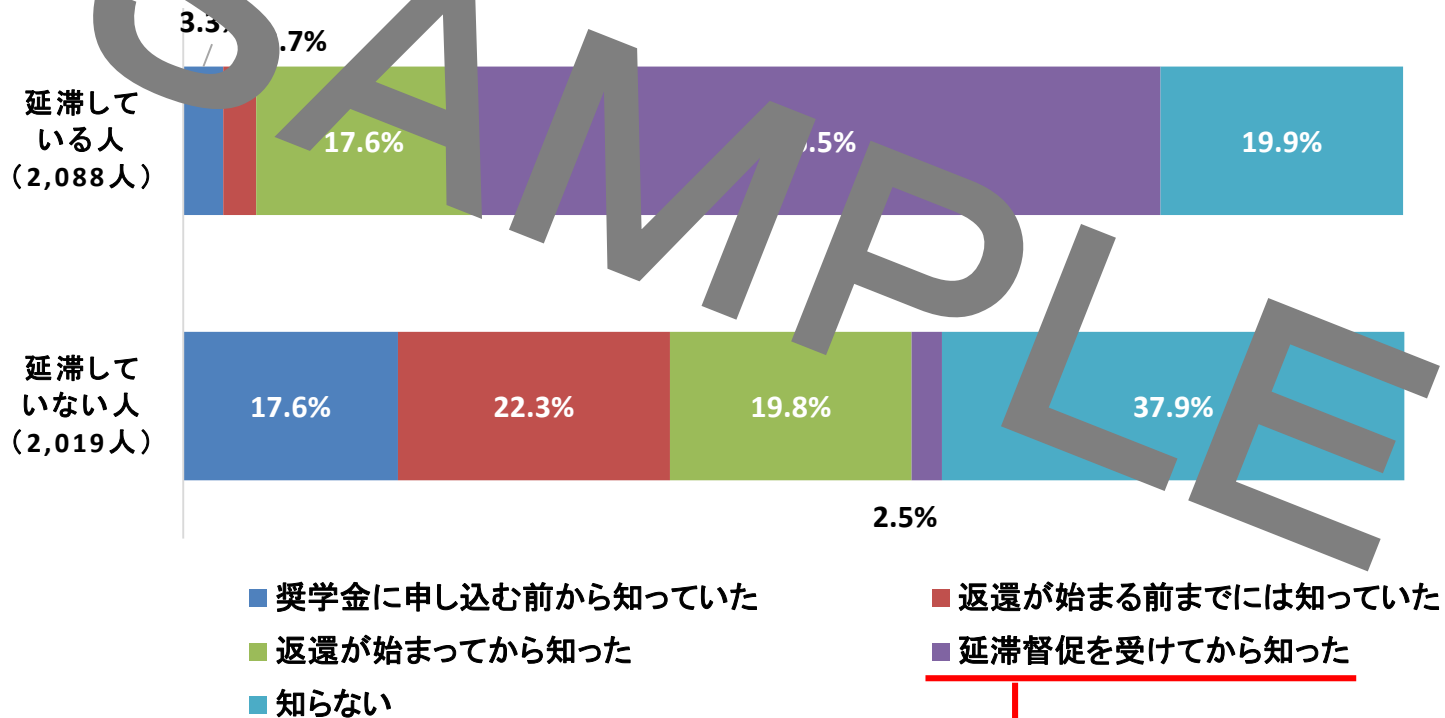
■ 奨学金の返還と本人の職業



■ 返還から見える雇用形態格差

⇒ 滞っている人のうち、**28.7%**(滞っていない人は12.5%)が、**非正規雇用**。

■ 返還期限猶予制度の認知状況(択一)



■ 返還期限猶予制度の認知度

⇒ 延滞している人のうち、**56.5%**が、「**督促を受けてから知った**」と回答。